

第87回 二十五三昧会

ウイルスと付き合っ—

エイズ、コロナなどから学んだ事

5月29日(日)

予約不要/会場本堂

お話:14時~16時

感染予防対策をしたうえで、参加はご本人の判断でお願いします。

講師:白阪 琢磨先生(大阪医療センター 臨床研究センター長) 故:神代先生の同級生

白阪先生は「二十五三昧会」の生みの親である故:神代尚芳先生の同級生で、偲ぶ会の時に神代先生の思い出話を語っていただいたというご縁があります。コロナ禍3度目の春、「HIV/AIDS」の専門医である白阪先生に何かお話をさせていただけないかとお願いすると「ウイルスと付き合っ—エイズ、コロナなどから学んだ事」というテーマでどうかと快諾をいただきました。改めて「HIV/AIDS」を調べてみると、「HIV」=ヒト免疫不全ウイルスはウイルスの名前で、「AIDS」=後天性免疫不全症候群で病気の名前でいわゆるエイズです。

1981年に米国で初めて報告され、日本でも1985年に最初の症例の報告がされ、大騒ぎになりました。そして差別や偏見で患者さんや家族は今も苦しめられています。その29年後に現れた新型コロナウイルスも差別と偏見を伴って広がってきました。エイズもコロナも、そのどちらもがウイルス。

ところでウイルスっていったい何?「非生物・生物両方の特性を持っている」とか「生物・生命の定義を厳密に行うことはできていない」という厄介な存在。そしてそれに感染すると差別や偏見が付きまとう。そのようなウイルスを長年研究されてきた先生のお話は人間・生き物・生命の本質に迫る話になることでしょう。(住職:記)



臨床研究センター長、HIV/AIDS 先端医療開発センター長、エイズ先端医療研究部長、臨床研究推進部長、感染症内科医長 医学博士

白阪 琢磨

Shirasaka Takuma

大阪大学(昭和56年)卒業

■専門領域

HIV 感染症

■所属学会(専門医資格等)

日本エイズ学会(認定医、指導医)、日本感染症学会(ICD)、

日本内科学会(認定内科医、指導医)、日本環境感染学会、

日本呼吸器学会、日本公衆衛生学会、

日本化学療法学会、日本生命倫理学会、

日本結核病学会、

日本免疫学会、国立医療学会

◆参加無料・予約なし! どなたでも自由に参加できます! 詳しくはお寺までご連絡ください。(平日10時~16時)

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺(こうほんじ) TEL.072-793-0203

〒666-0121 兵庫県川西市平野1-33-14 TEL/FAX072-793-0203 mail:vyku11976@nike.eonet.ne.jp

ホームページ <https://www.kohonji.jp> または [川西市岡本寺](#) [検索](#)